【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-64195(P2014-64195A)
【公開日】平成26年4月10日(2014.4.10)
【年通号数】公開・登録公報2014-018
【出願番号】特願2012-208576(P2012-208576)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/40　(2006.01)
Ｇ０６Ｋ　9/20　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　7/40　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/40　Ｆ
Ｇ０６Ｋ　9/20　３４０Ｌ
Ｇ０６Ｋ　9/20　３２０Ｌ
Ｇ０６Ｔ　7/40　１００Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年9月17日(2015.9.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原稿画像内の網点領域を検出する網点検出手段と、
前記原稿画像内の先端領域を検出する先端検出手段と、
前記網点検出手段で検出された網点領域と、前記先端検出手段で検出された先端領域とに基づいて網点領域を決定する決定手段と
を備えることを特徴とする像域判定装置。
【請求項２】
前記決定手段は、前記網点検出手段で検出された網点領域から前記先端検出手段で検出された先端領域を除くことによって前記網点領域を決定することを特徴とする請求項１に記載の像域判定装置。
【請求項３】
前記網点検出手段は、網点パターンを用いたパターンマッチングにより前記網点領域を検出することを特徴とする請求項１または２に記載の像域判定装置。
【請求項４】
前記先端検出手段は、先端パターンを用いたパターンマッチングにより前記先端領域を検出することを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の像域判定装置。
【請求項５】
前記先端パターンは、前記網点検出手段で用いられる網点パターンと部分的に重複しているパターンであることを特徴とする請求項４に記載の像域判定装置。
【請求項６】
前記網点検出手段は、前記検出した網点領域の画素に第１の網点フラグを付与し、
前記先端検出手段は、前記検出した先端領域の画素に先端フラグを付与し、
前記決定手段は、前記第１の網点フラグが付与され、かつ前記先端フラグが付与されていない画素を網点領域の画素と決定することを特徴とする請求項１に記載の像域判定装置

。
【請求項７】
原稿画像内の画素に対して、網点領域への近似度を表す第１のパラメータと、先端領域への近似度を表す第２のパラメータとに基づいて、前記画素が網点領域の画素であるかを判定する判定手段
を備えることを特徴とする像域判定装置。
【請求項８】
請求項１から７のいずれかに記載の像域判定装置によって網点領域であると判定された画素に対してスムージング処理を行う処理手段を備える画像処理装置。
【請求項９】
画像データを入力する画像データ入力手段と、
前記入力された画像データが示す画像の文字領域のエッジを強調した画像を出力する出力手段と
を備えた画像処理装置であって、
前記出力手段で出力される文字領域のエッジを強調した画像は、前記文字領域の線形状の先端部分のエッジが前記文字領域以外の領域よりも強調された画像である、
ことを特徴とする画像処理装置。
【請求項１０】
原稿画像内の網点領域を検出する網点検出ステップと、
前記原稿画像内の先端領域を検出する先端検出ステップと、
前記網点検出ステップで検出された網点領域と、前記先端検出ステップで検出された先端領域とに基づいて網点領域を決定する決定ステップと
を備えることを特徴とする像域判定方法。
【請求項１１】
コンピュータを請求項１から７のいずれかに記載の像域判定装置として機能させるためのプログラム。